



青井高校図書館だより
2025年1月 No.9

1月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館日：8時35分～16時45分
閉館日：図書館はお休みです

お正月気分は抜けましたか。1年間の締めくくり、3学期の始まりです。

1月は行く、2月は逃げる、3月は去る。あっという間に過ぎ去る3学期ですが、充実した毎日を送りましょう。

スマホで図書館の本の蔵書検索や新刊チェックができます！

『冬休みに借りていた本の返却日は1月9日(木)です。』

図書委員による第2回ビブリアバトルを行いました！



12月11日(水)に、図書委員による第2回ビブリアバトルが行われました。チャンプ本(一番読みたくなった本)には2年5組さんが発表した『自省録』と2年2組さんが発表した『すべての恋が終わるとしても』が選ばれました。



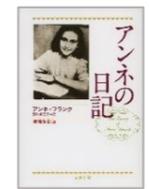
『自省録』
マルクス・アルレーリウス/著
(ごめんなさい。本校図書館にはありません)



『すべての恋が終わるとしても』
汐見夏衛/著

第2回ビブリアバトルで紹介された本

『星の王子さま』 1年4組	『5分後に意外な結末』 1年3組
『すべての恋が終わるとしても』 2年2組	『あの花が咲く丘で君とまた出会えたら』 2年3組
『オズの魔法使い』 1年6組	『52ヘルツのクジラたち』 2年4組
『自省録』 2年5組	『蜘蛛の糸・杜子春』 2年3組
『アンネの日記』 1年1組	『ローマ帝国』 1年5組



シシヨドク キニナル本を Pick Up!



『千葉からほとんど出ない引きこもりの俺が、一度も海外に行ったことがないままルーマニア語の小説家になった話』

済東鉄腸/著

『真実の口』 いうみく/著
もし、虐待されているかもしれない子どもを見かけたら……。この本に出てくる高校生3人組は、家の前でロープに繋がれている女の子を見て、居ても立っても居られない気持ちに。

実はこの子は、彼らが中学生の時に迷子として届け出たことがある、ありすという少女です。3人は、こっそりありすを救い出し、自宅に連れ帰ることにします。

母親から離さなければ……。その時の正義感、間違っただけではなかったのですが……。

著者の済東さんは日本にしながら、ルーマニア語で小説を書いている作家。ですが、海外はおろかルーマニアにも行ったことがなく、現在も千葉の自宅でステイホーム中です。引きこもりの彼は「完全に脳の神経がバグって」「ドン詰まりの状態」の中、「復讐みたいに映画を観まくる」ようになるのですが、それが彼の人生の歯車を回していきます。

ルーマニアにドハマリした彼は日本を飛び越え世界へ。引きこもり×ルーマニア。稀有なコラボが生んだ超オリジナルな人生をご覧ください！

